

■ 概要

Revit終了時にBooT.oneのライセンスは自動的に解放される仕組みになっておりますが、ライセンス数を超過したPCにBooT.oneをインストールしている場合、Revitを終了させる以外にライセンスを解放させる[シリアル一時解除]についてご案内いたします。

■ [シリアル一時解除]操作手順

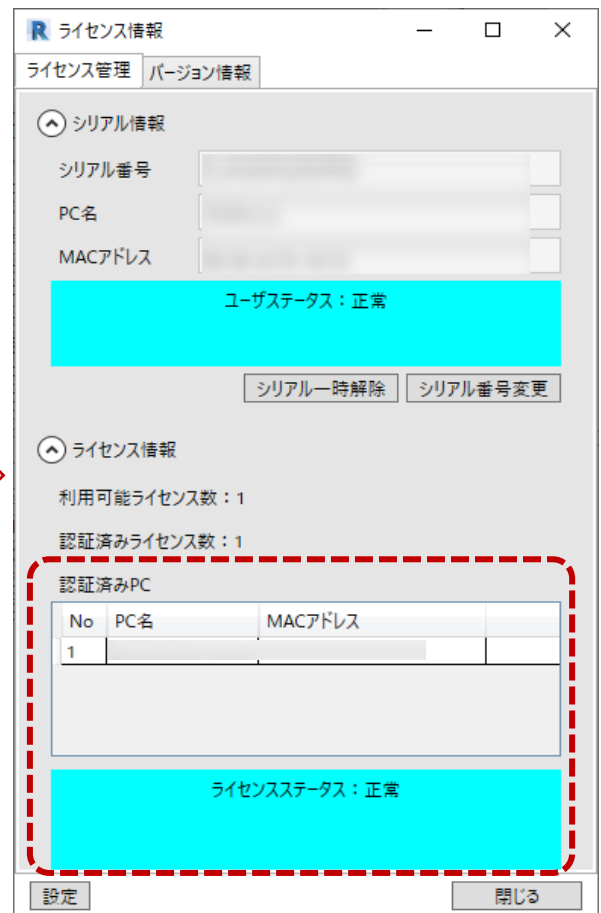
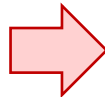
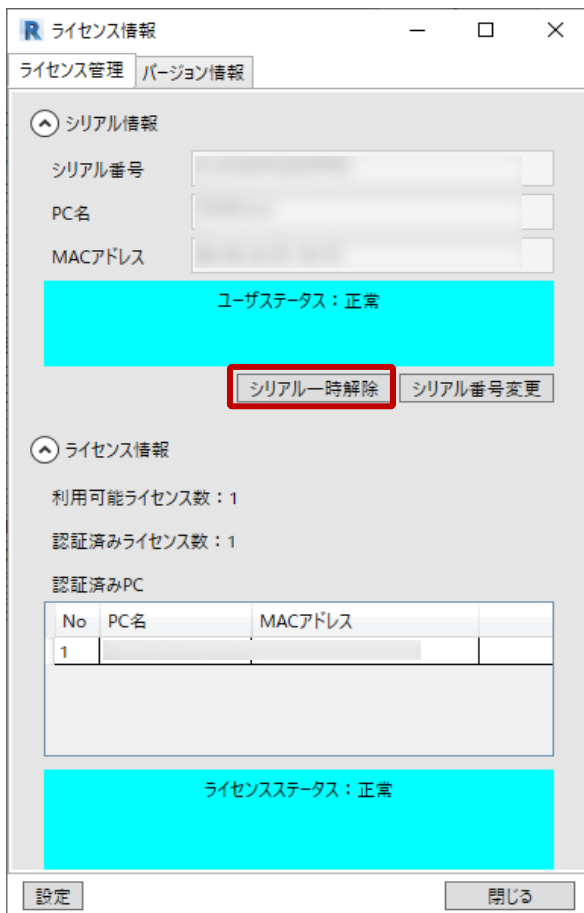
1.) 任意のファイルを開く (新規でも既存でも構いません)

※ファイルを開かないとツールがアクティブにならないため必ず任意のファイルを開いてください

2.) [B.共通]タブ → [情報]パネル → [バージョン情報]ツールをクリック



3.) [ライセンス情報]ダイアログ → [ライセンス管理]タブ → [シリアル情報]内の[シリアル一時解除]をクリック



[シリアル一時解除]をクリックすると、自動的にライセンス解放が行われます。

[シリアル一時解除]を実行直後のダイアログ上ではユーザステータスとライセンスステータスの状態は変化しません。

また、ライセンス解放が行われた際に完了のメッセージは表示されない仕様となっております。

4.) [閉じる]をクリック

■ 確認方法

1.)ライセンス解放が行われるとBooT.oneのツールバーがグレーアウトします。

ライセンス解放後のBooT.oneツールバー



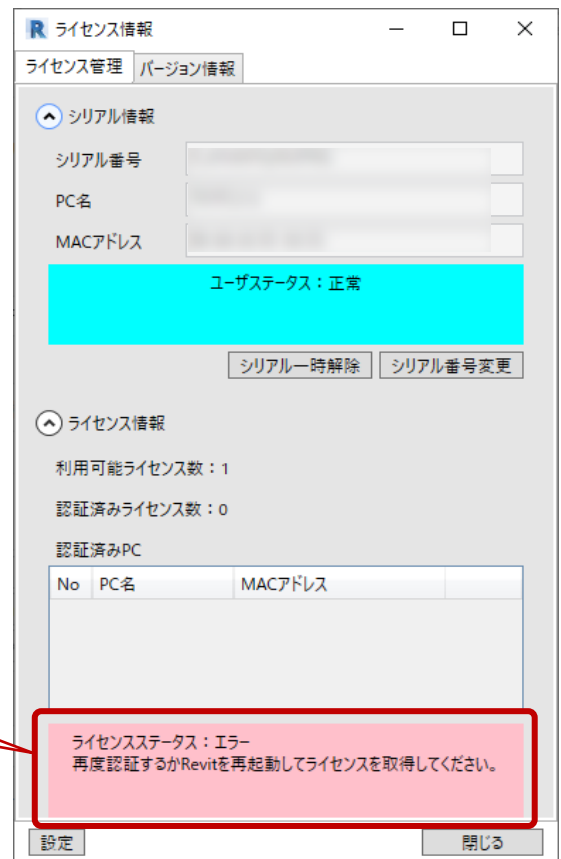
2.)ライセンス解放後も[バージョン情報]のみ起動可能となっております。

ライセンス解放後の[バージョン情報]のライセンス管理のダイアログでは、ライセンスステータスがピンクのエラー状態で表示されます。



[バージョン情報]のみがアクティブ

ライセンス解放後のライセンス管理ダイアログ



ライセンスステータスがエラーとなって表示される。

ライセンスステータス: エラー
再度認証するがRevitを再起動してライセンスを取得してください。

※Tips

右図では、[利用可能ライセンス数]が1、[認証済みライセンス数]が1なので
現状使用可能なライセンス残枠は0となります。

使用可能なライセンス数 =
[利用可能ライセンス数] - [認証済みライセンス数]

